

江戸末期から陶工たちが育んだ 多様な名煎茶器の「用」を超えた「美」の世界

いわゆる文人煎茶は、江戸末期から明治にかけて、池大雅、田能村竹田、頼山陽その他多数の文人たちによって広められ、陶工たちにも多大な影響を与えた。

日本の茶器を集めるうちに気づいたことであるが、これら雑器は機械的に職人が作り出したというより、特別な思い入れを込めた作品として作り出されるように変貌してきたのではないだろうか。

雑器に求められる「用」の特長を突き抜けて、芸術性の希求が職人の間に広がったようである。

今回、本写真集においては、文人に触発された陶工たちの作品をできる限り集めて、その技を堪能できないものかという思いの下に編集した。



●主要写真は原寸にて紹介しています。

きりとり線

注文書

日本の名煎茶器一覧

冊注文します。

発行:クインテッセンス出版株式会社 定価:本体7,600円(税別) ISBN978-4-7812-0477-2

●お名前

●書店名

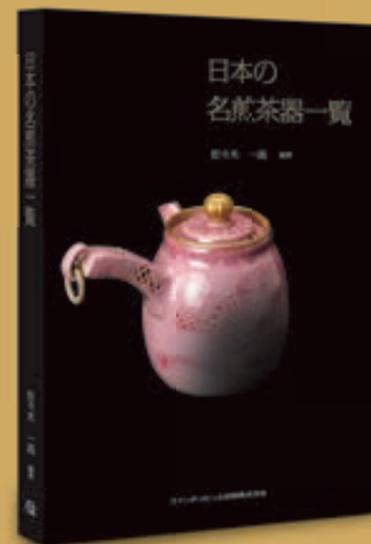
●ご住所 (〒)

●TEL

●FAX



第1巻
多彩な煎茶器の
「用」と「美」



日本の 名煎茶器一覧

佐々木 一高 編著

やりたい事をやる。それが出来る人は幸せである。

自分を中心にすすめる、確固たる信念をもつ人は、たのもしい。

他人を気にかけず自分だけの物差しをもった人は愛敬がある。

「その人のこだわりと生き方」
これが「イズム」である。

●本シリーズは「イズム」を主張する人達のものである。

●サイズ:B5判変型 ●284ページ(掲載作品190点) ●定価 本体7,600円(税別)



クインテッセンス出版株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目2番6号 クイントハウスビル
TEL. 03-5842-2272 (営業) FAX. 03-5800-7592 <http://www.quint-j.co.jp/> e-mail mb@quint-j.co.jp





「用」の特長を突き抜けた陶工たちの「芸術性」



沼波弄山



時大彬



金士恒



森有節



篠田鏡石



平安竹泉



永楽保全



初代 清水六兵衛



平安竹軒



初代 清風與平



節斎



青木木米



清水平七



泰平雲林院宝山



二代 川本半助



初代 山田常山



三浦常山



川口芳山 (絵付)
横田深山 (絵)



清香庵春山

初代 小西友仙 (作)
牛鳥一陶 (彫)

道八

初代 道八